軽井沢ライフのための情報紙 ● Karuizawa News Paper　No.149

軽井沢新聞

11/10 November 2015

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27
身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語

武蔵野大学大学院人間社会・文化研究科教授
川村 匡由（まさよし） さん

新聞記者から転身し、社会保障のエキスパートに

社会保障、老人福祉、地域福祉の専門家として、これまでに著した書籍は130冊以上。大学院教授のほか、複数の自治体で福祉関連の委員を務め、全国各地で講演活動も行う。

読売新聞の記者時代に書いた年金の本が売れ、大学の非常勤講師や地方講演の依頼が相次いだ。

「年金制度の大改革（1986年）の頃で、私の仕事と世間の関心が一致したんですね」

日本福祉大学中央福祉専門学校（名古屋市）から専任講師の要請があり、42歳で記者を辞め、研究者の道へ。その後、つくば国際大学から武蔵野女子大学（現武蔵野大学）の教授に。ここ10年は毎年、スイスの農山村の実情を調査するため、現地を訪れている。著書『スイスにはなぜ「限界集落」がないのか』（農文協）を来年1月に刊行予定だ。

「スイスの山岳部では、農産物の市場価格に関わらず、農業所得の100%の直接支払いを政府が補償している。農業者の経営が安定し、都市部よりも農山村の方が人が増えている」

東京都武蔵野市の事務所を、高齢者が情報共有し、交流できる地域サロン「ぷらっと」として土日のみ開放。年金や介護保険の講座などを行い、5～20人ほどが集まる。

「町会や自治会がない土地柄ですので、地域全体を巻き込んでいくにはまだまだ時間がかかりそうです」

結婚を機に、妻に誘われて始めた山登りに今ものめり込む。8年間で、全国に点在する「○○富士」と呼ばれる135の山を上り、1996年『ふるさと富士百名山』（山と渓谷社）にまとめた。普段の生活から足腰を鍛えるため、階段のあるところではエレベーターは使わない。

「マンションの11階に住んでいたときも、来客と引っ越しのとき以外は階段でした。これまで大病の経験もありません」

1986年に建てた北軽井沢の別荘を毎年訪れる。来年3月に大学を退職後、北軽井沢中心の生活にシフトし、群馬医療福祉大学に出講するかたわら、江戸時代の浅間山大噴火被災地の復興を題材にした防災福祉の研究書の上梓も計画している。

1946年生まれ。定年間近のベテラン教授でありながら、入試シーズンは毎年、地方会場の試験監督者を買って出る。

「街の移り変わりの様子を見たり、教え子に会いに行ったり、『ついで』を楽しめるのがいいんですよ」

上手に時間をやりくりし、人の何倍も楽しもうとするその姿勢に、若さの秘訣を見た気がした。

「軽井沢ウィンターフェスティバル」初日は歩行者天国も

今年のクリスマスイベントは

軽井沢町内の各所で11月下旬から、クリスマス関係のイベントが始まる。

11月28日には、毎冬恒例の「軽井沢・冬ものがたり」がスタート。オープニングセレモニーでは初の試みとして、例年の矢ヶ崎公園イルミネーションに代わり、軽井沢駅前本通り（駅入口交差点～東雲交差点付近）を歩行者天国（13時～19時交通規制）にして、「軽井沢クリスマス・マルシェ」を開催。信州の特産品などを販売する約25軒のブースが集まる。

期間中は町内の街灯にオリジナルのバナーを設置、森の動物の人形を使った装飾を施す。今年開館した軽井沢町観光振興センター横のポケットパークにも、矢ヶ崎公園で活躍した電飾オブジェが登場する予定だ。

恵みシャレー軽井沢では、サンタクロースに扮した宣教師が毎週末登場する、宣教師が拓いた町・軽井沢らしい催しも企画されている。

「今年はお祭りのように賑やかにするので、子供から大人まで楽しんで欲しい」と実行委員の園部悦子さん。

星野エリアでは静かで厳かなイベントも

星野エリアの軽井沢高原教会では、11月28日から「聖なる森のクリスマス」を開催する。教会前には6メートルのもみの木のツリーを飾り、2000個のランタンとキャンドルに毎日灯りをともす。「クリスマスキャロルと牧師による説教を聞く音楽礼拝や、ハンドベルの演奏などは、伝統的なクリスマスの雰囲気を感じられると思います」と広報の斉藤あずささん。（クリスマスイベント詳細については7面を参照）。

今年もオープニングには花火があがる。（矢ヶ崎公園グラウンド）

千ヶ滝西区から追分へ水道水を送る管、

48年ぶりに取り替え

水道用水供給事業に取り組む「浅麓水道企業団」（佐久市、小諸市、御代田町、軽井沢町で組織）が10月から、千ヶ滝西区と追分の調整池（水量を確保しておくための池）を結ぶ新たな送水管設置に向け工事を進めている。

現在使用している送水管は1967年、1000m林道沿いに設置されたもので、老朽化が進み、耐震性も心配されるため、取り替えることになった。新たな送水管は全長5274m。1000m林道の北側200～500m（一部国有林を含む）の場所を通し、2018年度までに工事を終える予定だ。

国有林内に長さ1060m、幅4mの管理用道路設置工事を実施するが、樹木伐採の必要があるため、自然保護対策要綱にもとづき、町内の自然保護団体を回り意見を求めている。10月には、樹木の保護に取り組むNPO法人しいある倶楽部代表の鈴木美津子さんと現地を視察。予定地に希少植物の群落があることがわかった。しいある倶楽部では近く、林野庁の許可を得て、植物の移植を検討している。

追分調整池。

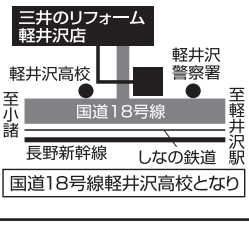
＜軽井沢の水道（中軽井沢以西）＞
中軽井沢や発地、追分などに供給されている水道水は、千ヶ滝地区2カ所の水源地（新滝水源・西池尻水源）が源泉。千ヶ滝調整池、西区調整池から供給され、残りの水は追分調整池に流れ佐久市、小諸市、御代田町へも送られている。

Karuizawa Style
軽井沢 Vignette（ヴィネット） 2015 下巻 800yen

特集 ようこそ私の別荘へ
理想の別荘を見つけました／土地を活かした三角形の別荘／緑の風が通りぬける別荘
暖炉・薪ストーブを楽しむ
軽井沢 焔のある暮らし
SHOP GUIDE「私の好きな軽井沢」
特別企画 軽井沢・戦後70周年
対談 貴乃花部屋女将 花田景子さん × 華道家・建築造形家 辻雄貴さん
文学者たちの軽井沢「佐多稲子と『軽馬』の人々」
軽井沢新聞社

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ
※軽井沢町民の方には住宅リフォーム補助金が支給されています。（平成23年～平成28年）
三井のリフォーム 5つのお約束
1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はお客様のご確認をいただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

平成27年5月26日受賞
全国第3位の社長表彰をいただきました。

リビングダイニング / 外観・エクステリア / キッチン・浴室 / 洗面・トイレ / 寝室・和室・書斎 / 水漏れ・雨漏り
あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。
別荘管理始めました!
詳細は軽井沢店にお問合せください。


軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業
都市に豊かさと潤いを 三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店
リフォーム一筋16年
見積り無料!! 悩んでいないで、まずはお電話ください！
(0120) 278-321
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00～18:00 メール karuizawa@mitsui-reform.com
リフォーム事例 T様邸 全体改修工事
before

和室2部屋をギャラリーとしての空間に。小屋裏収納を解体して吹き抜けのリビングに。リビングには憧れの薪ストーブを新設。
After

ホームページが新しくなりました。施工事例多数掲載！
WEBで検索 三井のリフォーム軽井沢店 検索